



Kenji Usui Ballet Collection

バレエ楽譜の世界
～ Score of Ballet ～

vol.39

2012/12/19 (Wed.)～2013/1/20 (Sun.)

バレエは音楽と切っても切り離せない関係の上に成り立っています。そうした音楽は古くから譜面によって現在まで伝わってきました。

今回は、現在多くの人がイメージするふわふわした白い衣裳を着てつま先で踊るというバレエの様式が確立したロマンティック・バレエ時代、バレエに革新をもたらされたフォーキン、そしてバレエ・リュスを越えたとまで言われたバレエ・スエドワに関する楽譜をご紹介します。ロマンティック・バレエ時代の楽譜の表紙は、版面としても大変美しいものが多くつくられました。一方でその中身は楽譜のみのシンプルなものです。

フォーキンの有名な「瀕死の白鳥」は、写真によって振付を「譜面」的につたえる珍しい収蔵品です。これは「舞踊譜」とも違い、発想としてはむしろビデオに近いといえるかもしれません。今回は展示していませんが、この他にも楽譜の横にダンサーの身体の位置と動きが言葉でかかれているものなど、舞踊を記録する様々な試みを見てとる「譜面」があります。

1920年にバレエ・スエドワによって初演された前衛的な作品「ル・ラーシュ（本日休演）」の楽譜はデザインこそ凝ったものですが、中身は極めてオーソドックスな楽譜となっています。バレエの楽譜は各時代のバレエの特徴とも密接に結びついているといえるのかもしれませんが。

バレエ楽譜の世界
～ Score of Ballet ～

vol.39

2012/12/19 (Wed.)～2013/1/20 (Sun.)

出品作品

◆24のダンス・ヴィエノワーズより「花の踊り」の楽譜、音楽：マックス・マルツェック
(楽譜 [SC-5] / 1844-1848年 / ロンドン)
Score of "LE PAS DES FLEURS" form DANSEUSES VIENNOISES, IN 24 SETS /
composer: Max Maretzek / possibly 1844-1848 / Jullien, London / 34.7×26.0cm /
10p (SC-05)

◆「瀕死の白鳥」の譜面、音楽：サン・サーンス、振付：ミハイル・フォーキン
(譜面 [SC-67] / 1925年 / J. フィッシャー & ブラザース社、ニューヨーク)
Score of "The Dying Swan", Choreographic Compositions by MICHEL FOKINE /
composer: Camille Saint-Saëns / 1925 / J. Fischer & Brothers, New York /
30.4×22.9cm / 16p (SC-67)

◆「本日休演」の楽譜、音楽：エリック・サティ、振付：ジャン・ホルラン
(楽譜 [SC-80] / 1924年 / パリ)
Score of "RELÂCHE" / composer: Erik Satie / 1924 / Rouart, Lerolle & Cie, Editeurs,
Paris / 33.2×26.0cm (SC-80)

次回予告

薄井憲二バレエ・コレクション Vol.40
劇場へのパスポート ～バレエ・チケット～
Passport to the theatre ～ Ticket of the Ballet ～

バレエに限りませんが、劇場へ入場し舞台をみるためには今も昔もチケットが必要
です。案外簡素な作りであった時代が長いチケットは、プログラム以上にあまり
現存していません。そんな劇場への「パスポート」としてのチケットからバレエの
世界をご紹介します。

(期間：2013/1/23～2013/2/24 於：2階共通ロビー・ピアッツァ)

◎企画・監修
芳賀直子(はが・なおこ/薄井憲二バレエ・コレクション・キュレーター)
Naoko Haga (Curator of Kenji Usui Ballet Collection)